

高校生に伝えたい!地域づくりに踏み出す勇気!

日時: R2.10~12月

主催・会場: 羽島高校、加納高校、東濃高校

参加者: 羽島高校3年生ビジネス類型選択者59名、加納高校普通科1年生318名、

東濃高校3年生地域づくり類型選択者8名

テーマ: 「さあ、一步を踏み出そう!~『地域づくり型生涯学習』の推進~」

県では、地域づくりに関わる講座を開催しようとする市町村・生涯学習施設・学校・団体等を支援する、「地域づくり型生涯学習講座コーディネート事業」を行っています。

今回は、今年度3つの高校で行った県職員の出前授業について紹介します。

「地域の子ども達に『ふるさと』の思い出を」を合言葉に、岐阜市の子育て世代の父親達が市民活動グループを立ち上げ、地域の夏祭りを復活させるまでのエピソードを話しました。

グループ内での衝突、地域の方々に応援してもらえらるまでの苦労など、失敗談も交えて話を進め、最後に、この授業で高校生の皆さんに一番伝えたかった、「自分が熱意をもって行動すれば、必ず周りに伝わり大きなエネルギーとなるので、まずは自分が一步を踏み出してみよう」というメッセージを届けました。



高校生の感想

- ・熱意があれば、人は何でもやれるのだということを実感した。
- ・誰かが動くのを待つのではなく、自分から動くこと(勇気)が大切だとわかった。
- ・身近なことの中にも社会の役に立つことがあるとわかった。

担当者から

現在、県内のたくさんの学校で、ふるさとの魅力や課題を知る学習や地域課題を探求する学習が行われています。私たちが推進する「地域づくり型生涯学習」も、個人の学習で得た知識・技術・経験を地域課題の解決のために役立てていくもので、目指す姿は同じです。これからは高校だけでなく、小・中学校や大学でも、このような出前授業を行っていきたいと考えています!

↑市民活動グループが実施した夏祭りのポスター